

2021年1月1日から2024年12月28日に、当院泌尿器科外来を受診された方へ

研究実施のお知らせ

研究の題名：高齢女性における骨盤底筋訓練実施時の骨盤底筋と腹横筋の関連性の分析

研究期間：研究機関の長の許可日～2025年3月31日

研究責任者：山梨大大学院総合研究部 看護学講座 教授 谷口 珠実

山梨大学医学部では、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（令和4年4月1日施行）に基づき、匿名化された情報（診療録等）の研究利用について、以下に公開いたします。

【研究の目的と意義について】

腹圧性尿失禁（くしゃみや立ち上がった時位に尿が漏れた）や骨盤臓器脱（膣からピンポン玉のようなものが触れる）の最初の治療に骨盤底筋訓練を行います。骨盤底筋訓練は、筋力を増加させ、症状を改善することができます。高齢になると筋肉量が低下し、自分で思っているように筋肉が動かないことがあるため、連動する筋肉の動きを測定することで、今後の治療の一助にしたいと考えています。

【研究の方法について】

2021年1月1日～2024年12月28日までの間に当院泌尿器科外来を受診し、腹圧性尿失禁および骨盤臓器脱と診断された患者さんの診療録から骨盤底筋と検査（筋電測定）の情報を収集し調査します。

【利用する情報について】

〈対象となる患者さん〉

腹圧性尿失禁・骨盤臓器脱の65歳以上の女性患者さんで、2021年1月1日～2024年12月28日までの間に当院泌尿器科外来を受診し、通常の診察をされ骨盤底筋訓練の指導を受けた患者さん

〈利用する情報・項目〉

情報：診療録情報、検査データ（筋電計測）

なお、この研究に必要な臨床情報は、すべて診療録より取り出しますので、改めて患者さんに行っていないことはありません。

【情報を利用する者の範囲について】

この研究において取得する情報の利用者は、本学大学院看護学講座の研究者のみです。

【個人情報の取扱いについて】

収集したデータは、誰のデータか分からなくした（匿名化といいます）上で、統計的処理を行います。国が定めた倫理指針（「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

【利益相反について】

この研究は、山梨大学で管理されている研究費を用いて実施いたします。この研究のために、企業等からの資金提供はありません。したがって、この研究の計画、実施、発表に関して可能性のある利益相反は存在しません。また、研究責任者及び分担研究者は、利益相反について本学医学研究利益相反審査委員会に申告し、適切な実施体制であることの審査を受けております。

【お問い合わせ等について】

この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先まで、メール又はFAXにてご連絡ください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

また、患者さんや代理人の方のご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報および知的財産の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。希望される方は、以下までメール又はFAXにてご連絡ください。

〈お問い合わせ等の連絡先〉

山梨大学大学院総合研究部 看護学講座

教授 谷口珠実

メールアドレス：tamamit@yamanashi.ac.jp

FAX：055 - 273-8942